

公表用

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和4年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2022-1	道路整備による走行時間短縮便益等を把握する手法 についての技術研究開発	東京大学 教授 加藤 浩徳	A
<p><研究の概要></p> <p>我が国の道路事業を対象に、事業評価手法の改善を目指し、時間価値等の原単位の設定手法および交通量推計の手法について検討し、我が国の事情に見合った新たな事業評価手法の提案を行うことを目的とする。</p> <p><中間評価結果></p> <p>走行時間信頼性指標の推定や誘発交通影響の分析等において、研究の困難さを十分に理解しつつ、真摯に取り組まれており、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。最終年度においては、マニュアルへの反映等、現場の事業評価への活用が可能な研究成果となるよう、とりまとめをお願いしたい。</p> <p><参考意見></p> <ul style="list-style-type: none">研究成果の発表を、現場での活用の観点から、海外のみならず国内でも実施していただきたい。研究経費が高額であり、外注内容の精査等、効果的・効率的な研究遂行に努めていただきたい。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第49回新道路技術会議において審議したものである。